

令和4年度 教育計画						学校番号 10	
四国中央市立中曾根小学校							
校長名	仙波 直久	学級数	15 (3)	児童 生徒数	326	教職員 数	21

★ 経営方針

ふるさを大切に思い、自分の人生や未来を切り拓く心豊かでたくましい児童の育成を目指し、児童も、教師も、家庭も、地域もみんながよさや力を出し切り認め合える、輝く笑顔でつながる学校づくりに努める。

- 規律を基盤に、一人一人の笑顔が輝き、安心できる学習・生活づくりを推進する。
- いじめや差別を絶対に許さない、実践力のある人権・同和教育を推進する。
- 教職員の研修と創意、連携と総和を重んじ、活力に満ちた教育活動を展開する。
- 家庭、地域との連携・協力を努め、信頼される学校経営を展開する。



<p style="text-align: center;">重 点 目 標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 安全・安心な学校環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ○ いじめ・不登校の未然防止、早期発見・早期対応の徹底 ○ 交通安全指導、生活安全指導の徹底及び安全な教育環境の整備と防災教育の推進 ○ 児童・教職員の心身の健康状態の確実な把握と業務改善（働きがい意識の高揚） 2 健やかな体を育てる教育の推進（「元気な子」の育成） <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な生活習慣・食習慣の確立（早寝・早起き・朝ごはん）と立腰の推進 ○ 体力づくりに主体的に取り組む児童の育成（ITスタジアム・外遊びの奨励） 3 豊かな心を育てる教育の推進（「やさしい子」の育成） <ul style="list-style-type: none"> ○ 挨拶・返事・履物そろえ・聞く・伝える（5つの目標）の定着 ○ 自分も周りの人も大切にできる児童の育成（人権・同和教育の推進） ○ 異年齢集団による交流活動の推進と仲間づくり ○ JRC活動の精神と「宇摩の子の誓い」を活用した奉仕の精神や規範意識の醸成 ○ 地域・家庭と連携した豊かな体験活動の推進 4 確かな学力を育てる教育の推進（「考える子」の育成） <ul style="list-style-type: none"> ○ ICTの効果的な活用による楽しく学び合う「分かる・考える」授業の推進 ○ 基礎学力の確実な定着（朝ドリル・読書の推進） ○ 進んで学習する態度の育成（自主学習の奨励・学び方の指導） ○ 気づき、考え、実行する力の育成（学級活動・児童会活動の活性化） 5 特別支援教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童理解と全教職員の共通認識及び指導力の向上 ○ 交流及び共同学習の充実 ○ 校内教育支援委員会の推進及び関係諸機関や家庭との連携（個別支援計画の活用） 6 信頼される学校づくりの推進（コミュニティ・スクールの推進） <ul style="list-style-type: none"> ○ ホームページ・学校だより・学級だよりによる積極的な情報公開 ○ 家庭・地域との連携・協働を目指した学校運営協議会の発展的な運営
<p style="text-align: center;">管 理 運 営</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 人的管理 <ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員の心身の健康に留意し、「働き方改革」を意識した業務改善に努める。 ○ 「報告・連絡・相談・見届け」を密にし、厳しさと温かさのある職場づくりを目指す。 ○ 服務規律の厳守に努め、地域から信頼される教職員集団を目指す。 2 物的管理 <ul style="list-style-type: none"> ○ 施設・設備・備品の適正な整備・管理と有効活用に努め、教育効果を高める。 ○ 潜在的な危険個所の早期発見、整備を行い、安心・安全な教育環境づくりに努める。 ○ ICT等の有効活用により、教育環境の多様性を広げる。 3 事務管理 <ul style="list-style-type: none"> ○ 校務分掌の適正化を図り、ICT等の活用により迅速で効率的な事務処理に努める。 ○ 個人情報や著作権、肖像権保護の意識を高め、管理について周知徹底する。 ○ 諸表簿の適正な処理と保管に努める。
<p style="text-align: center;">本 校 教 育 の 特 色</p>	<p>本校区は、近隣に市役所や防災センター、図書館などの公共施設があり、地域学習の環境が整っている。また、田畑が広がる田園も共存し、豊かな体験活動の基盤となっている。</p> <p>家庭・地域は、学校教育に協力的で、保護者による読み聞かせや地域の方の協力による田植え・稲刈り体験など、児童の豊かな体験活動を支えになっている。</p> <p>1987年より青少年赤十字に加盟し、赤十字の精神「気づき、考え、実行する」を基に、朝のボランティア活動などの児童の自主的な活動を推進している。</p>

